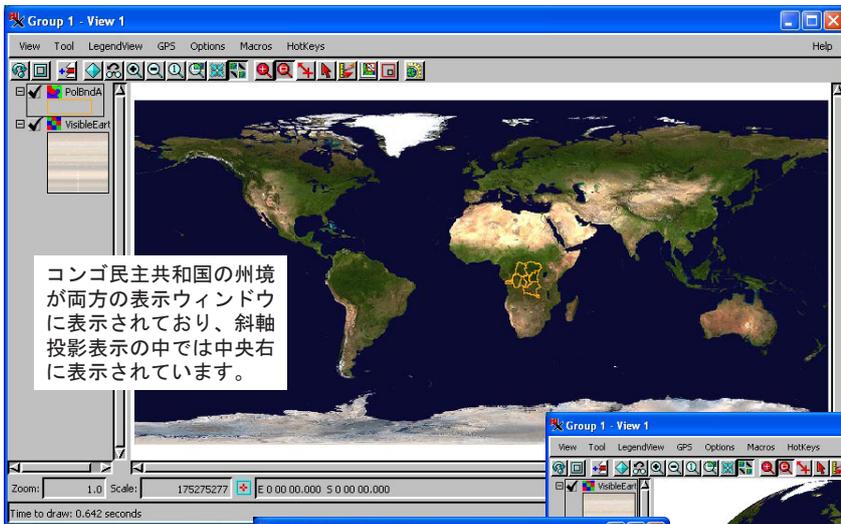
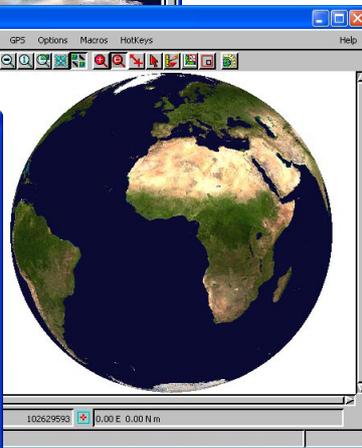
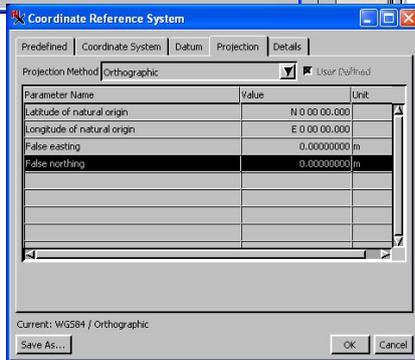


正射図法を使った全球表示



TNTmips では、何百もの定義済み座標参照系が使えます。また、座標参照系と測地系 (datum) の可能な組み合わせは数千にも及び、自分の目的に合った座標参照系を定義することができます。正射図法は地球や月、その他の惑星の鳥瞰図表示に使われ、あたかも宇宙から見た写真のように表示することができます。正射図法には極投影 (北極や南極が中心) や赤道投影 (赤道が横向き)、斜軸投影 (緯度方向斜め南北からの投影) があります。極投影と赤道投影の正射図法は、斜軸投影も同じですが、任意の経度を原点 (Natural Origin) として使うことができ、地球を自由に回転することができます。原点の緯度は、斜軸投影に対する傾きの角度を表します。

最初に座標系から“投影: Easting (E) と Northing (N)”を選択し、次に測地系 (datum) を選択します。最後に投影法に [正射図法 (Orthographic)] を選択します。[投影法 (Projection)] パネルのパラメータを使って投影の中心点を指定します (右図では赤道とグリニッジ子午線が中心点になっています)。

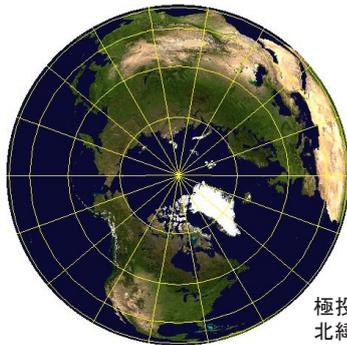


図の正射図法表示は 4 つの異なる画像を使用しています:

上段 2 つ: Visible Earth (Blue Marble: Land Surface, Shallow Water, Shaded Topography)

下段左から順に: ETOPO 30、Earth's City Lights、GTOPO 30

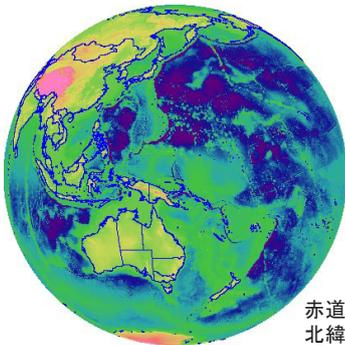
下 3 つの画像には、グローバルベクタオブジェクトからの行政界も表示しています。極投影の表示には緯線と経線が描かれています。



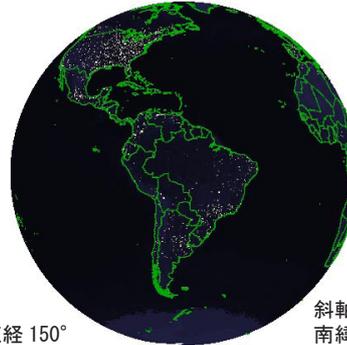
極投影
北緯 90° 西経 90°
北極圏



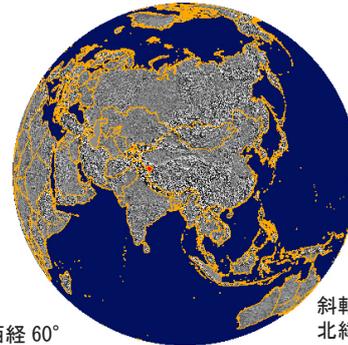
斜軸投影
北緯 30° 東経 30°
コンゴの州境界



赤道投影
北緯 0° 東経 150°
太平洋周縁部の標高



斜軸投影
南緯 10° 西経 60°
南アメリカの夜の光



斜軸投影
北緯 34° 東経 94 度
アジアの陰影起伏図

ポスターを作る

ハードコピーレイアウトはどんなサイズでも、大判プリンタで印刷したり、あるいは複数ページに分けても印刷できます。右図の拡大したエリアは、ポスターサイズの印刷に適するように画像の解像度を上げています。マイクロイメージ社が提供する Global Reference Geodata DVD 中のデータの品質は制限されていませんので、あなたのプロジェクトやポスターに適した解像度の画像を選択してください。無料で多くの高解像度データをダウンロードすることができます。例えば、地球の地表面のほとんどをカバーしているランドサット画像が 2000 年頃以降、14.25 メートルの解像度で入手可能です (<https://zulu.ssc.nasa.gov/mrsid>)。他方、この DVD の画像の解像度は約 1 キロメートルです。縮尺に応じて表示 / 非表示を制御できる縮尺コントロールやラベルも使うことができます。

